

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年6月1日

【四半期会計期間】 第48期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 サンコーテクノ株式会社

【英訳名】 SANKO TECHNO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 洞下 英人

【本店の所在の場所】 千葉県流山市東初石六丁目183番1

【電話番号】 04-7178-5535

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 佐藤 静男

【最寄りの連絡場所】 千葉県流山市東初石六丁目183番1

【電話番号】 04-7178-5535

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 佐藤 静男

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の平成23年3月期及び平成24年3月期第3四半期連結財務諸表作成に当たり、一部の連結子会社の決算日ずれにより、連結子会社決算日から連結決算日までの当社との間に生じた重要な取引について行った調整に一部誤りがありました。

具体的には、当社グループのセンサーセグメントに関して、平成23年3月期に内部取引が発生し、平成23年3月期第4四半期においてアルコール測定器の駆け込み特需があり、期末に売上高が一時的に増加したため期ずれ調整を行い、当社のセンサーセグメントの仕入高に対応する連結子会社の売上高を計上し、相殺消去を行いました。その際、連結子会社の売上原価に関する仕訳並びに当該取引に関する税効果の仕訳をしておりませんでした。

平成24年3月期の期末監査手続きにおいて、新日本有限責任監査法人より、売上原価に関する調整仕訳が計上されていない旨の指摘を受けました。また、平成24年3月期第3四半期においても同様の処理を行っておりました。

その結果、当社が平成24年2月14日に提出いたしました第48期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので、あわせて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(4) 財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第47期 第3四半期連結 累計期間	第48期 第3四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	9,923,452	10,223,891	13,626,170
経常利益(千円)	302,981	<u>336,619</u>	<u>489,223</u>
四半期(当期)純利益(千円)	163,384	<u>133,100</u>	<u>260,951</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	169,683	<u>52,171</u>	<u>243,951</u>
純資産額(千円)	6,599,323	<u>6,660,558</u>	<u>6,669,459</u>
総資産額(千円)	13,595,522	<u>13,543,016</u>	<u>13,743,512</u>
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	80.29	<u>65.41</u>	<u>128.24</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.5	48.2	<u>47.5</u>

回次	第47期 第3四半期連結 会計期間	第48期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	33.39	<u>21.84</u>

(訂正後)

回次	第47期 第3四半期連結 累計期間	第48期 第3四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	9,923,452	10,223,891	13,626,170
経常利益(千円)	302,981	<u>378,817</u>	<u>443,988</u>
四半期(当期)純利益(千円)	163,384	<u>179,623</u>	<u>211,073</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	169,683	<u>98,694</u>	<u>194,073</u>
純資産額(千円)	6,599,323	<u>6,657,202</u>	<u>6,619,581</u>
総資産額(千円)	13,595,522	<u>13,539,661</u>	<u>13,693,634</u>
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	80.29	<u>88.28</u>	<u>103.73</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.5	48.2	<u>47.3</u>

回次	第47期 第3四半期連結 会計期間	第48期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	33.39	<u>39.06</u>

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンが復旧し企業の生産活動は持ち直しの兆しを見せたものの、タイの洪水による各種産業への影響や欧米の経済不安等による円高傾向が続き先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、政府補正予算による東日本大震災への復旧・復興需要が期待されるものの、本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、公共事業全般の予算執行も低調に推移しました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましてはベトナムに子会社を設立、国内においては「安全・安心・環境」のキーワードのもと、安全・安心分野では、アルコール測定器を平成23年10月開催の「トラックショー」へ出展しました。環境分野では太陽光発電市場向け製品について、平成24年7月の「再生可能エネルギー全量買取制度」施行に向け積極的に展開しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,223百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益365百万円（同14.7%増）、経常利益336百万円（同11.1%増）となりました。四半期純利益は、133百万円（同18.5%減）となりました。

（省略）

センサー事業

測定器関連では事務所設置型アルコール測定器の需要が一巡し、受注減となりました。電子基板関連では円高による医療機器向け等の製品の輸出減が発生しましたが、車両向けの製品受注が好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は439百万円（同6.3%減）、セグメント損失は51百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

（省略）

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンが復旧し企業の生産活動は持ち直しの兆しを見せたものの、タイの洪水による各種産業への影響や欧米の経済不安等による円高傾向が続き先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、政府補正予算による東日本大震災への復旧・復興需要が期待されるものの、本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、公共事業全般の予算執行も低調に推移しました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましてはベトナムに子会社を設立、国内においては「安全・安心・環境」のキーワードのもと、安全・安心分野では、アルコール測定器を平成23年10月開催の「トラックショー」へ出展しました。環境分野では太陽光発電市場向け製品について、平成24年7月の「再生可能エネルギー全量買取制度」施行に向け積極的に展開しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,223百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益407百万円（同28.0%増）、経常利益378百万円（同25.0%増）となりました。四半期純利益は、179百万円（同9.9%増）となりました。

（省略）

センサー事業

測定器関連では事務所設置型アルコール測定器の需要が一巡し、受注減となりました。電子基板関連では円高による医療機器向け等の製品の輸出減が発生しましたが、車両向けの製品受注が好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は439百万円（同6.3%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

（省略）

(4) 財政状態の分析

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より200百万円減少して13,543百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より191百万円減少して6,882百万円となりました。これは主として短期借入金、賞与引当金及び退職給付引当金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より8百万円減少して6,660百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より153百万円減少して13,539百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より191百万円減少して6,882百万円となりました。これは主として短期借入金、賞与引当金及び退職給付引当金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より37百万円増加して6,657百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,237,128
受取手形及び売掛金	3,032,585	2,922,313
たな卸資産	<u>2,201,722</u>	<u>2,531,297</u>
その他	<u>844,959</u>	<u>773,629</u>
貸倒引当金	70,063	71,825
流動資産合計	<u>7,400,094</u>	<u>7,392,544</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,345,896	1,314,532
土地	3,067,211	3,009,208
その他(純額)	449,792	397,599
有形固定資産合計	<u>4,862,899</u>	<u>4,721,340</u>
無形固定資産	121,691	115,509
投資その他の資産	² 1,358,826	² 1,313,622
固定資産合計	<u>6,343,417</u>	<u>6,150,472</u>
資産合計	<u>13,743,512</u>	<u>13,543,016</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	955,061
短期借入金	4,228,311	4,131,931
未払法人税等	95,620	72,145
賞与引当金	127,547	68,222
災害損失引当金	2,195	-
その他	325,138	361,527
流動負債合計	<u>5,718,723</u>	<u>5,588,887</u>
固定負債		
長期借入金	52,728	39,813
退職給付引当金	974,914	939,700
役員退職慰労引当金	218,375	226,150
その他	109,313	87,906
固定負債合計	<u>1,355,330</u>	<u>1,293,571</u>
負債合計	<u>7,074,053</u>	<u>6,882,458</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	<u>5,509,473</u>	<u>5,581,531</u>
自己株式	244,111	244,111
株主資本合計	<u>6,615,144</u>	<u>6,687,202</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,618	21,482
繰延ヘッジ損益	597	21
為替換算調整勘定	62,701	140,050
その他の包括利益累計額合計	<u>82,722</u>	<u>161,555</u>
少数株主持分	137,037	134,910
純資産合計	<u>6,669,459</u>	<u>6,660,558</u>
負債純資産合計	<u>13,743,512</u>	<u>13,543,016</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,237,128
受取手形及び売掛金	3,032,585	2,922,313
たな卸資産	<u>2,156,486</u>	<u>2,528,260</u>
その他	<u>840,316</u>	<u>773,311</u>
貸倒引当金	70,063	71,825
流動資産合計	<u>7,350,216</u>	<u>7,389,188</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,345,896	1,314,532
土地	3,067,211	3,009,208
その他(純額)	449,792	397,599
有形固定資産合計	<u>4,862,899</u>	<u>4,721,340</u>
無形固定資産	121,691	115,509
投資その他の資産	² 1,358,826	² 1,313,622
固定資産合計	<u>6,343,417</u>	<u>6,150,472</u>
資産合計	<u>13,693,634</u>	<u>13,539,661</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	955,061
短期借入金	4,228,311	4,131,931
未払法人税等	95,620	72,145
賞与引当金	127,547	68,222
災害損失引当金	2,195	-
その他	325,138	361,527
流動負債合計	<u>5,718,723</u>	<u>5,588,887</u>
固定負債		
長期借入金	52,728	39,813
退職給付引当金	974,914	939,700
役員退職慰労引当金	218,375	226,150
その他	109,313	87,906
固定負債合計	<u>1,355,330</u>	<u>1,293,571</u>
負債合計	<u>7,074,053</u>	<u>6,882,458</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	<u>5,459,595</u>	<u>5,578,176</u>
自己株式	244,111	244,111
株主資本合計	<u>6,565,266</u>	<u>6,683,847</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,618	21,482
繰延ヘッジ損益	597	21
為替換算調整勘定	62,701	140,050
その他の包括利益累計額合計	<u>82,722</u>	<u>161,555</u>
少数株主持分	137,037	134,910
純資産合計	<u>6,619,581</u>	<u>6,657,202</u>
負債純資産合計	<u>13,693,634</u>	<u>13,539,661</u>

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	9,923,452	10,223,891
売上原価	6,971,608	<u>7,131,580</u>
売上総利益	2,951,843	<u>3,092,311</u>
販売費及び一般管理費	2,633,438	2,727,023
営業利益	318,405	<u>365,288</u>
営業外収益		
受取利息	3,191	8,997
受取配当金	2,094	2,589
仕入割引	43,951	35,687
投資不動産賃貸料	17,369	22,921
持分法による投資利益	909	1,382
その他	35,767	19,040
営業外収益合計	103,284	90,619
営業外費用		
支払利息	19,357	18,253
売上割引	60,796	66,055
その他	38,553	34,978
営業外費用合計	118,707	119,287
経常利益	302,981	<u>336,619</u>
特別利益		
固定資産売却益	2	5,192
特別利益合計	2	5,192
特別損失		
固定資産除却損	5,566	3,993
投資有価証券売却損	-	0
投資有価証券評価損	10,123	-
災害による損失	-	8,909
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	-
特別損失合計	16,610	12,903
税金等調整前四半期純利益	286,373	<u>328,908</u>
法人税等	112,303	<u>185,384</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	174,070	<u>143,524</u>
少数株主利益	10,686	10,423
四半期純利益	163,384	<u>133,100</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	9,923,452	10,223,891
売上原価	6,971,608	<u>7,089,382</u>
売上総利益	2,951,843	<u>3,134,509</u>
販売費及び一般管理費	2,633,438	2,727,023
営業利益	318,405	<u>407,486</u>
営業外収益		
受取利息	3,191	8,997
受取配当金	2,094	2,589
仕入割引	43,951	35,687
投資不動産賃貸料	17,369	22,921
持分法による投資利益	909	1,382
その他	35,767	19,040
営業外収益合計	103,284	90,619
営業外費用		
支払利息	19,357	18,253
売上割引	60,796	66,055
その他	38,553	34,978
営業外費用合計	118,707	119,287
経常利益	302,981	<u>378,817</u>
特別利益		
固定資産売却益	2	5,192
特別利益合計	2	5,192
特別損失		
固定資産除却損	5,566	3,993
投資有価証券評価損	-	0
投資有価証券評価損	10,123	-
災害による損失	-	8,909
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	-
特別損失合計	16,610	12,903
税金等調整前四半期純利益	286,373	<u>371,106</u>
法人税等	112,303	<u>181,059</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	174,070	<u>190,047</u>
少数株主利益	10,686	10,423
四半期純利益	163,384	<u>179,623</u>

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,070	<u>143,524</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,682	861
繰延ヘッジ損益	-	619
為替換算調整勘定	6,070	89,871
その他の包括利益合計	<u>4,387</u>	<u>91,352</u>
四半期包括利益	<u>169,683</u>	<u>52,171</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,563	<u>54,267</u>
少数株主に係る四半期包括利益	10,119	2,096

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,070	<u>190,047</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,682	861
繰延ヘッジ損益	-	619
為替換算調整勘定	6,070	89,871
その他の包括利益合計	<u>4,387</u>	<u>91,352</u>
四半期包括利益	<u>169,683</u>	<u>98,694</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,563	<u>100,791</u>
少数株主に係る四半期包括利益	10,119	2,096

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,985,803	1,856,789	381,299	10,223,891	-	10,223,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,579	15,746	58,617	75,943	75,943	-
計	7,987,382	1,872,536	439,916	10,299,835	75,943	10,223,891
セグメント利益又はセグ メント損失()	409,274	6,792	<u>51,701</u>	<u>350,780</u>	14,508	<u>365,288</u>

(訂正後)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,985,803	1,856,789	381,299	10,223,891	-	10,223,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,579	15,746	58,617	75,943	75,943	-
計	7,987,382	1,872,536	439,916	10,299,835	75,943	10,223,891
セグメント利益又はセグ メント損失()	409,274	6,792	<u>9,503</u>	<u>392,978</u>	14,508	<u>407,486</u>

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	80円29銭	65円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	163,384	133,100
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	163,384	133,100
普通株式の期中平均株式数(株)	2,034,805	2,034,759

(訂正後)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	80円29銭	88円28銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	163,384	179,623
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	163,384	179,623
普通株式の期中平均株式数(株)	2,034,805	2,034,759

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月31日

サンコーテクノ株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	布施木 孝叔 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中川 昌美 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンコーテクノ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サンコーテクノ株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年2月13日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。